



事務局より報告をさせて頂きます。今年ばかり役員改選の時期に当たっており、また、板倉会長よりも健康状態が思わしくない、これ以上続けることは困難であるというお話がございまして、先日、幹事会において新役員を選出いたしました。

ただ今から新役員のお名前を読み上げさせて頂きます。なお、敬称は略させて頂きます。

会長・小林肇（旧制十九期生）、副会長・近藤誠（旧制十六期生）、副会長・太田勝治（新制十一期生）、副会長・菅原渉（新制二十一期生）、会計監査監事・村井克白（新制四期生）、事務局長・八柳昭義（新制八期生）、会報編集長・杉崎孝雄（新制八期生）、以上の方々を新役員として選出いたしました。

皆さまのよりいっそうのご支援をよろしくお願いいたします。

### 会長辞任の挨拶

板倉 創造氏

初代会長は腰山巳代治さんがたいへん長い間、おやりになっておられました。私が副会長から



会長になったのが、明治、明治じゃない、昭和四九年だったか、五十年だったか忘れませんが、まあ、四、五年ぐらいお手伝いしようかと思っておいたら、いつのまにか十五年も会長をしております。その罰が当たって、去年病気になるって始めて総会を欠席いたしました。これはもういい加減に若い人に交替すべきである、という神様のお告げであると思ひまして、ぜひ引退させて頂きたいと思ひました。

振り返ってみますと、この十五年間は能代高校東京同窓会が非常に発展をした期間である、ということが言えるのではないだろうかと思ひます。総会の際には講演会を開くとか、幹事会を毎月、いえ、二カ月毎ですか、一回二十人程度の方が集まって懇親をやり、また、今後の同窓会についての意見を言う、というようなことで、同窓会のつながりが非常に緊密になりました。そして、本日は始めて今年卒業の皆さんが集まって頂きました。これも前々から新しい卒業生ともども会をやりたいたいのだなあ、と考えておりましたがなかなかできなかった。今年これが実現しまして、本当にうれしいと思ひます。同窓会というのは、もともと先輩・後輩みな力を合わせて、それぞれの心を豊かにするもので

なければならぬ。しかも、自分たちが習った先生を大事にしなければならぬ。そのような趣旨から、なんとか資金の工面をしながら、毎年二、三人の先生をご招待してきました。現在までおそらく三、四十人以上の先生において頂いたことになると思ひます。要するに、恩師・先輩・後輩それにPTAといったものが一堂に集まって盛り上げていく、それが本会の同窓会の姿であると思っております。今日まで、そのような方向へ皆さんの協力が頂けましたことを深く感謝いたします。

今日この胸の花をはずすことができて、本当にホッとしております。どうも長い間いろいろありがとうございました。

司会：本日、会長をやめられたとは言っても、これからもまだまだ会の発展に寄与して頂かなければなりません。次に読み上げる方々には、今後とも顧問という形で会の役員としてご尽力を頂くことになりました。腰山巳代治（旧制一期）、板倉創造（旧制三期）、後藤典二（旧制四期）、この三名の皆さんにはこれから会のためにご尽力・ご意見を頂くため、役員として残って頂くことをお願いいたしました。



腰山巳代治氏



後藤 典二氏

## 会長就任の挨拶

小林 肇氏 旧制十九期



どうも皆さん今晚は。今日の会合のために、

お忙しい中をおいで頂きまして、誠にありがとうございます。ただ今板倉会長から、前会長と申しておきましようか、ご挨拶がありました通り、先頃から健康上の理由で交替を申し出られておりました。実は、この度の役員改選に当たりましては、あいにく私も出席できない状態でしたが、欠席裁判のうちに会長ということにされておったわけでございます。本日、板倉会長とお会いしましたら、とてもとても健康上という理由は合点がいかないほどお元氣の様子です。先ほど神馬会長さんからもお話がありました通り、まだまだお元氣でございます。何はともあれ、本当にうれし限りでございます。

私は板倉会長とのコンビで、事務局をもたせて頂いて十五年になりました。その前は、この度顧問をお願いすることになりました後藤さんが、この会をずっと継続されてまいりました。そして、五一年でしたか、能代高校五十周年記念を終えたときでございます。能代高校のさらなる発展をどうするかという話になったときに、板倉前会長が後藤さんを引き継いで、この

会をいつそう盛り上げてきたわけでございます。本日は私も板倉会長と一緒に交替させて頂きました。急ぎよ私が板倉会長を引き継いで、この会の運営をしてまいることになりました。板倉会長は顧問として会に残って頂くわけですので、いろいろご指導を頂きながら、また、皆さまのご協力を頂いて、何とかそれなりにやってまいりたいと思っております。人望の厚い板倉会長と違いますが、足りない点は多々あると思いますが、できない者だからこそ、皆さまもご協力のしがいがあるのではないかとこの期待をもちまして、この会の運営につとめさせて頂きます。

板倉会長には本日に長い間ご苦労を重ねて頂きました。今後も益々ご健康に留意されましてわれわれにいろいろなアドバイスを頂きたいと思っております。同窓会の意義は先ほど前会長が申された通りでございます。われわれは利害関係を抜きにして、この会をどのように継続発展させていくか、会の目的は何か、どうやって今後もつとめと盛大にしていくか、考えるべきことは考え、実行すべきことは実行する。その意味で、今回始めて、今年の春母校を卒業して東京地区におられる方々に、この会に参加して頂きました。先輩として、同僚として皆さんの相談相手になったり、あるいは力になることがあればという気持ちでございます。決して先輩風を吹かせるような、堅苦しいものではありません。この会もどんどん若い皆さんの希望も入れて、新しい方向での運営を目指していきたいと思っております。ですから先輩に遠慮することなく、思い切った意見や提案はおおいに歓迎いたします。そのような新風が吹き込まれて始めて、従来の会員たちもまた一つ盛り上がり

を見せることになろうかと思えます。今日ここにお運びの皆さん、そして、あいにく都合がつかずご出席がかなわなかった皆さんに、重ねて今後よろしくとお願いいたします。

簡単ではございますが、これをもちまして就任の挨拶にさせて頂きたいと思えます。

なお、板倉会長の長年のご苦労に対して、ほんのささやかではございますが、この会から感謝の印として、記念品をさしあげたいと思えます。どうぞ皆さん、拍手をお願いいたします。板倉前会長、スママセンが前へどうぞ。



板倉前会長：いや、このような物を頂くのは生まれて始めてでございます。これはどうも驚きました。開けてみないと中味はわかりませんが、どうもありがとうございます。

## 第三部 懇親会



### ●懇親会開会の挨拶●

秋田県立能代高校東京同窓会副会長

近藤 誠氏 旧制十六期



え、お晩でございます。一部・二部と滞りなく終わりました、いよいよ第三部の懇親会、同窓会の同窓会らしさがここから始まるわけでございます。先ほど前会長・新会長からいろいろお話があった通りですが、要するに同窓会というのは現在の年齢とか地位とかというものは関係なく、あの当時のそれぞれ同窓生・同期生・クラスの仲間・先輩それぞれ先生たちが、あの当時の状態でここで酒を酌みかわす、これが同窓会の真髄とさえ言えるのではないかと思うのであります。

今年には幹事の人たちが、この会のためにいろいろ腐心いたしました。特に若い幹事の方々がたいへん頑張ってくれましたし、市のほうからいろいろな協力もありまして、今日は本年二度目の能代の七夕をここに催すことになりました。若干ここに小さな田楽みたいな物、提灯もございまして、新規に仲間入りの意味を含めまして、今年新卒の若い人たちに先頭を切ってもらいながら、太鼓の囃子で景気をつけて懇親会を始めたいと思います。それでは皆さん、乾杯の用意をしてください。

### ●乾杯の音頭●

藤田 成孝氏 旧制一期



旧制一期の藤田でございます。昨年も皆さま

方の前で乾杯の音頭を取らせて頂きましたが、もう本当に度重なる乾杯のご指名で恐縮している次第でございます。今日は皆さんにお集まり頂き、盛大な会になりましたこと心からお祝い申し上げます。ご来賓の方々のお話、また先ほどは高橋さんの貴重な体験に基づく講演をお聴かせ頂き、この上ない盛り上がりを見ることができました。本当にありがとうございます。この会も年を重ねるに従いまして、益々盛大になつていくことを心から喜んでおる次第です。私もすでに第一線からは引退している身ではございますが、このように皆さまとお目にかかれることは本当にうれしいことでございます。

それでは、乾杯の音頭を取らせて頂きます。能代高校東京同窓会の発展と母校の益々の隆盛を祈り、また、併せて皆さまのご健勝をお祈りすることで、乾杯の音頭とさせていただきます。それではご唱和お願いいたします。カンパニー！ おめでとうございました。

### 恩師メッセージ

柴田 旭先生



ただ今ご紹介頂きました柴田でございます。旧姓は佐藤でございます。私が能代中学・能代

高校と在任しましたのは、昭和二十二年から三十九年三月までの十七年間の長い期間でございました。その間、戦後初めての修学旅行では、米を持参して北海道巡りをするなど、数々の懐かしい思い出がございます。先ほど板倉前会長さんから、同窓生は教師を大事にしろというありがたい言葉を頂いたわけですが、われわれ教師のほうから見ますと、卒業された生徒さんたちが果たしてどうなっているのだろうか。それを見届ける責任感のようなものが強かったのですが、こうして皆さま方の立派な成長ぶりを拝見しまして、非常に心強く思った次第でございます。なお、椎名校長先生から軟式野球の話がでしたが、実は、私能代高校の時代に軟式野球同好会の顧問を命じられました。それがやがて部に昇格しまして、初代部長を勤めたものでございます。現在も顧問を仰せつかっておりますが、何とかうまく運営されております。今日は東京同窓会にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。

### 平野 忠夫先生

平野でございます。この度はこの盛大な会にお招き頂きましてたいへん恐縮いたしております。うれしくまたありがたい気持ちでお邪魔させて頂きました。どうもありがとうございます。私が母校の教壇に立たせてもらいました期間は、昭和三八年から四四年の七年と、四八年から五四年の七年の通算十四年間でございました。その間、甲子園へ三回の出場及び樽子山から現在の高橋へ校舎が移転するという歴史的時期に巡り会いまして、非常に感慨深いものがあ



るわけでございます。母校を懐かしく振り返るときに、やはり樽子山の校舎で学んだ能中時代にどうしても思いがいたすわけでございます。私が生まれましたのは大正十四年でございまして、能中第一期生が入学をされました年頃であります。したがって、能代高校創立六十六周年は私の満年齢でもございます。昭和十三年に能中へ入学いたしました。その秋に第一回六十キロ強行軍が挙行されました。ここに持参いたしましたこのカードが、そのときの関門通過の手形でございます。いちばん最後の向能代のところに、無事通過を証明する判がありません。実はそこまでに白足袋とか草鞋をすべて使い果たしまして、ついにそこでダウンの憂き目を見ました。ほとんど素足の状態でした。このカードは私にとりましてたいへん苦渋に満ちた屈辱の品であります。その後五十三年にわたって大きなトランクの中に入れておいたものであります。その中には、能中時代に使ったものもろの教科書や恥ずかしながら通信簿などもありまして、母校をしのぶものがたくさん保存してございます。ここで締めくくりたいと思っておりますが、卒業生の皆さまははるか能代に思いを寄せながら、この地で志を立てて頑張っておられる様子でございます。どうかこれからも初志貫徹の

ため、悔いのない頑張りを続けて頂きたいと思っております。たいへん粗辞ではございますが、お礼の言葉とさせて頂きます。本日はどうもありがとうございました。

### ● 祝 辞 ●

小野清子参議院議員秘書 藤田 貞子氏



板倉前会長始め皆さまには、たいへんお世話になっております。参議院議員小野清子の秘書でございます。本日は能代高校東京同窓会の総会にお招き頂きましてありがとうございます。本来ならば、小野清子本人がご挨拶に上がるところでございますが、皆さまご承知の通り政局が急を告げている状態で、ご挨拶に上がれず、代わりに参上いたしました。まず、そのことをお話し頂きたいと存じます。小野清子は、環境政務次官として元気に活動が続けております。また、来年の参議院議員選挙に向けて、さる八月の一日に佐々木満先生ともども自民党の公認を頂きまして、東京選挙区から立候補することが決まりました。少しでも皆さまのお役に立てるように、努力を続けてまいる所存でございますので、どうぞ皆さまの暖かいご支援をお願いいたしますと存じます。最後に、能代高校東京同窓会の益々のご発展と、ご列席の皆さま

のご健勝を、小野清子に代わりまして心からお祈り申し上げ、ご挨拶にさせて頂きます。本日は誠にめでとうございました。

● 激励に応えて ●

自転車競技オリンピック候補選手

鈴木 裕美子さん 新制三二期



どうも、本日もこの盛大な会に出席させて頂きまして、おまけにたいへんお若い方から先輩にまで励まして頂き、本当にありがとうございます。また、オリンピックも後一年足らずに迫りました。すでにあれからあつという間に三年が過ぎました。その分年もつたのですけれども、今年も世界選手権にドイツに行つてまいりまして、三年連続世界で戦つてきました。まだまだやり残していることがありますので、来年のオリンピックにはぜひとも頑張りたいと思つております。皆さまからのいつに変わらぬご声援、本当にありがとうございます。一生懸命やりますので、どうぞ、これからもよろしくご声援をお願いいたします。

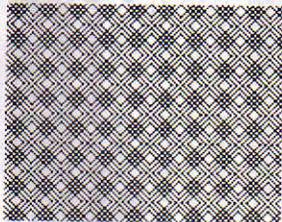
能代市役所「七夕囃子愛好会」

本日は、能代高校東京同窓会十周年おめでとうございます。東京駐在の布川参事を通して、事務局の八柳さんに依頼されて、七夕囃子を実演するため、めつたに出来ない東京に久々に来させてもらいました。おかげで、懐かしい顔もちらほら見させて頂きました。

これから始めたいと思いますが、太鼓など昔とつた杵柄、腕に覚えのある人は、ステージのほうへご遠慮なくお越しください。それでは、思い切り披露させてもらいますので、暖かい拍手をお願いいたします。

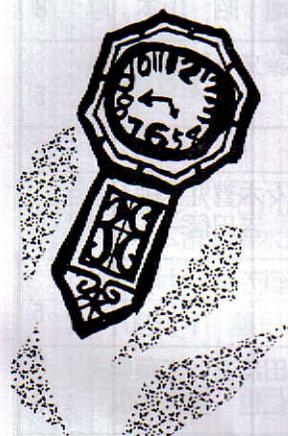
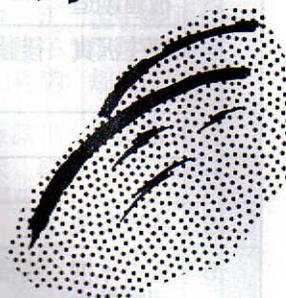
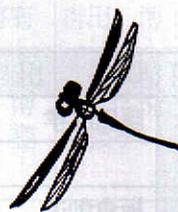
ええが、いぐどく  
セーノ……







||||| SNAP |||||



平成3年度総会出席欠席者氏名一覧(敬称略)

平成3年10月5日(土曜日)

期	出席者	数	欠席者(返事があった方のみ)	数
旧1	藤田成孝	1	腰山巳代治 柴田 清	2
2		0	淡路千代治 佐藤三郎 並木信道	3
3	板倉創造	1		0
4	栗生沢實 後藤典二 藤田成宜	3	小仲清一 近藤三郎 高田忠夫 高垣重雄 三浦左武郎 武藤裕宜	6
5		0	針金三郎	1
7		0	石山栄蔵 今立貞二 塚本信男	3
8	高原英夫	1	大山芳雄 武衛尚道	2
9	佐々木博 高橋正太郎 中田友也 早崎敬治	4	草皆英二郎	1
10		0	淡路輝一	1
11	清水栄三 住吉忠三	2	石丸健次郎 木内 亨 小林健二郎	3
12		0	青木十三夫 泉 勇 今 久男 塚本淳逸 奈良善四郎 平泉 修 宮地 昭 山本 厚	8
13	勝永金一	1	相庭 等 打矢章一 工藤文一郎 千葉胤 時 安井哲彦	5
14	村木良二	1	石山栄一 宮原茂悦	2
15		0	草野英幸 鈴木喜雄 佐々木喜丸 佐々木 満 村田 守 森田良二 吉田信一	7
16	熊谷洋三 近藤 誠	2	伊勢隆次 金丸 明 佐藤芳清 中嶋信雄 山田章二	5
17	安濃養一 川村幸信 高橋義三	3	石川浩之 岩森榮助 梅田恭三 工藤典夫 佐藤功 仙台忠正 畠 仁也 茂呂定広	8
18	潮田 巖	1	相沢昭一 伊藤利兵衛 菊地栄一 柴田文 夫 高畑政宏 能登良治 森田繁雄 加茂 谷宏一 長谷川良太郎	9
19	小林 肇 佐藤達郎 千葉孝夫 八木喜徳郎 吉方盛恭	5	相澤秋和 青山文敏 石井邦彦 伊藤忠夫 加藤 武 日下部道夫 坂本史郎 清水慶 蔵 杉崎聰男 古内 保	10
20		0	佐藤信一 東海林毅 高畠 隆 大和 好	4
新1		0	五十嵐喜久彌 金子隆太郎 鈴木良夫	3
2	小野 喬 河田俊彦	2	荒川浩二 飯坂勝美 大越 忠 小田嶋朗 金谷芳郎 佐藤眞一 塩谷隆二 民谷慎一 前田栄太郎	9
3	伊藤康孝 雄鹿春勝 柏木祐一 信太吉右エ門 森田 清 八杉 和男	6	五十嵐資和 江坂昭夫 小野 茂 斉藤 正 谷藤義郎 保坂隆司 山田隆理 山谷 正勝	8

4	齋藤寛敦 村井克自	2	石戸忠五郎 伊藤逸郎 小林究明 草階郷甫 鈴木勝也 塚本忠志 土井啓有 吉田 博	8
5	門脇治義	1	相沢裕雄 秋元孝治 伊藤和夫 大倉太助 設楽義雄 清水良二 鈴木 博 鈴木恪悦 成田憲司 細田了平 三田 登 宮腰孝一 八杉弘行	13
6	中島正美 田久保光一 藤岡寛子 門間昭栄	4	市川友之 越後陽一 金丸 正 金子勝信 木村信逸 木村喜作 小山黎子 佐藤正名 佐藤邦夫 豊田 誠 畠山喜満 畑江道弘	12
7	栗原俊一 民谷恒二 高田嘉子	3	岡部 忠 小野純治 工藤鉄也 佐藤郁久 男 佐々木胤麿 須藤祥夫 納谷六郎 那 須秋男 畠 豊彦 平川明三郎 三浦仙雄	12
8	板倉富彌 長内明德 神山正子 北村祐三 近藤勇夫 佐藤五郎 佐々木高博 杉崎孝雄 豊沢充美 畠山信孝 馬場ノリ 堀 良三 八柳昭義	13	池内広之 岩村庄一郎 今野勘一 金子秀 雄 川井良悦 京 敬一 佐々木弘高 塩 山元久 嶋田拓爾 杉本次門 仙台嘉仁治 豊田 護 原田幸朗 原田力次 本庄敬雄 松橋重美 宮腰英彌	17
9	小玉 潔 佐々木隆 齋藤秀夫	3	石岡忠治 加賀義介 工藤嘉明 七戸節雄 田村紀允 田中郁三 桧森 寛 宮腰香児 山口富秋 若松正雄	10
10	雄鹿豊彦	1	穴山勝良 越後政明 工藤銃也 工藤哲美 柴田 武 鈴木 昇 須田正巳 新川高信 堀内 盛 古内 仰 三浦義輝	11
11	赤塚修三 石川正順 太田勝治 笹木広澄 清水武久 宮腰興紀 宮腰瑞夫	7	赤塚鉄男 佐藤芙美恵 下間弘道 鈴木元 紀 田中善明 畠 辰宏 松岡興紀 港記 久郎	8
12	小島セイ 藤田道義	2	石田邦明 工藤泰昌 田口昌孝 千田浩一 平沢正三郎	5
13	布川隆治	1	大倉報三 北村幸雄 小林武廣 佐藤三男 須藤靖夫 桧森 隆 高松和夫	7
14	磯部 博 加藤 昭 高田政勝 高谷 誠 濱谷裕一 大和東悦	6	石川義彦 大沢忠夫 小澤孝一 宮腰克也 森 喬夫 森田 弘 山田孝行 山本 敏 米沢忠良 渡辺允康 小高 功 奈良勝夫	12
15	小林勝彦 齋藤忠生 武田 功 畠山 隆 堀内忠人	5	越後谷達雄 清野勝子 戸松勇一 船山 稔 播磨谷謙也 桧森忠義 矢木信章	7
16		0	杉沢忠信 平澤正典 平澤徳子	3
17		0	小山内与治兵衛 加賀亮司 九嶋宏樹 信 太一高 横田真理子	5
18	大山金四郎 藤田辰夫	2	浅野友城 工藤正樹	2
19	大倉久史	1	浅野 譲 井上道晴 今野廣隆 小野津世 子 加茂谷純一 武田 正 高橋ヒサ子 千葉礼子 辻敏	9

20	赤塚 剛 市川正敏 笠井昭治 成田正廣	4	青柳信夫 穴山和義 菊地正巳 金野正道 坂田二郎 佐藤 博 鈴木健次	7
21	大塚 進 金野峻明 菅原 涉 住吉修平	4	大高正典 小笠原牧子 工藤長昭 関 隆 男 武田信雄 田村 猛 直島博明	7
22		0	熊澤朝子 加賀谷良博 柴田正信	3
23	小河範也	1	菊地 茂 菊地美保 高畑 仁 田口勝正	4
24		0	菊池雄三 工藤長彦 工藤俊一 山本良寿	4
25	大屋有司 小沢茂則 小林 彰 佐藤義宏 須藤正喜 高橋敦子 渡辺博栄	7	大山 等	1
26	宮城伸一郎	1	佐藤 伸 佐保田朋子 庄内俊憲 針金三弥	4
27	樽原正彦 港 基樹	2		0
28		0	泉富士男	1
31	鈴木裕美子	1		0
43	(新卒者激励会出席者) 飯坂寧久 大高育也 大淵さおり 小松明子 庄内直美 松井直美 大塚雅子 丸井絵里子 伊勢教亨 播磨芳紀 山内大地 山崎 亘 大山義勇 畠山清人 山本 甲 工藤英子 斎藤知佳子 佐藤祥子 関美佳子 佐藤康二 渡邊 彰 伊東百代 斎藤衣理子 工藤鉦栄 安部大樹 泉 裕樹 袴田智毅	27	(新卒者激励会欠席者) 伊藤 崇 梅田郁生 佐藤直人 藤原美亜 落合晃生 桐越鉄章 斎藤 勉 桂田 悟 唐津高志 簾内 敦 中嶋 健 吉田秀政 伊藤美幸 新藤和香 雄鹿基明 柴田正希 岩本千恵子 佐々木亜希子 高堂恵子 高 松英明 安井博人 渡部 新 渡辺奈津子 田村ひろみ 大谷将彦 佐藤貴匡 佐藤博 憲 鈴木 一 牧野 心 松尾 保 小沼 由美子	31
	出席者合計	131名	欠席者合計	302名

### ご招待出席者氏名 13名

恩 師	柴田 旭先生	参議院議員・小野清子秘書	藤田 貞子氏
〃	平野 忠夫先生		
同窓会	神馬 恒成会長	能代工業高等学校OB	宮腰 昇三氏
母 校	椎名 光雄校長	〃	鈴木 博之氏
事務局	佐藤 真孝先生	能代商業高等学校OB	八木 茂氏
43期卒業	佐沢 先生	〃	安岡 政勝氏
生担任	半田 先生	〃	伊川 鉄郎氏